

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
20	福島県立郡山商業高等学校	全 日 制

I 期選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
商業科		<p>本校では、将来のスペシャリストの育成、地域産業を担う人材の育成、人間性豊かな職業人の育成という観点を基本として、「自治・勤労・感謝」の精神を大切にし、実社会で活躍するために必要な知識の習得と資格取得を目指している。</p> <p>よって、次のような生徒を求めている。</p> <p>A（学業）人物・学業成績ともに優秀であり、入学後も就職・公務員・大学進学等の明確な目的意識を持って、学習活動・資格取得などに意欲的に取り組む意志が固い者。</p> <p>B（部活動）人物が優れ、スポーツ・文化的活動において顕著な実績・記録・資格を有し、または優れた素質を有する者で入学後もその活動を継続する意志が固く、学習と両立させていこうとする意欲のある者。</p> <p>（各科共通）</p>	<p>本校への志願の動機・理由及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいことについて本人が記入する。</p> <p>B 志願者については、裏面の「顕著な実績報告書」についても具体的に記入する。</p> <p>（各科共通）</p>	<p>A 志願者については、「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は点数化しないが精査する。</p> <p>B 志願者については、「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。</p> <p>（各科共通）</p>	<p>個人面接を実施する。</p> <p>面接については、段階評価する。</p> <p>（各科共通）</p>	<p>小論文を実施する。</p> <p>あるテーマについて、500字程度で自分の考えを論じる小論文とする。</p> <p>小論文については、点数化する。</p> <p>また、B 志願者については、実技も実施する。</p> <p>実技については、段階評価する。</p> <p>（各科共通）</p>	

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
20	福島県立郡山商業高等学校	全 日 制

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
商業科 流通経済科	40%程度	○ サービス経済社会において活躍するため、流通・経済やマーケティングに関する知識を学び、インターンシップなどの体験的な学習を通じて、ビジネスの諸活動に対応できる実践力やコミュニケーション能力などを身につけたい者。	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	
商業科 会 計 科	40%程度	○ 複雑化した会計処理が要求されるビジネス社会において活躍するため、簿記会計の高度な知識と技術を学び、会計の観点から企業内部の諸活動を理解し、企業の業績を正しく評価できる能力を身につけたい者。	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	
商業科 情報処理科	40%程度	○ ICT社会において活躍するため、基礎的な情報技術（プログラミング、ネットワーク等）を学ぶとともに、さらに新しい情報技術を使いこなし、ビジネスの諸活動に情報を活用する能力を身につけたい者。	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
20	福島県立郡山商業高等学校	全 日 制

Ⅱ 期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
商業科 流通経済科	(120)	5教科とする。 (各科共通)	「各教科の学習の記録」は195点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しない。 (各科共通)	集団面接を実施する。 面接については、段階評価する。 (各科共通)	同等とする。 (各科共通)	
商業科 会 計 科	(80)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	
商業科 情報処理科	(80)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	(各科共通)	

Ⅲ 期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
商業科 (各科共通)	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが精査する。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。	小論文を実施する。 あるテーマについて、500字程度で自分の考えを論じる小論文とする。 小論文については、点数化する。	